

令和2年10月29日開催

第107回近畿ブロック知事会議(京都府開催)における西脇知事発言

○ 開会挨拶

- ・ 新型コロナウイルス感染症につきましては、8月第1週をピークとして減少しましたが、最近またやや横ばいから微増というようなことでございますが、改めまして、それぞれの府県民の皆様、事業者の皆様の御努力、そして第一線で、本当に命がけで働いておられます医療従事者の皆様にも心から感謝を申し上げたいというように思っております。
- ・ 本日の会場を提供していただいております「龍谷山 本願寺」、通称「お西さん」というのですけれども、会場であります「鴻の間」について若干御説明をさせていただきます。境内には、阿弥陀堂、御影堂、唐門、書院と飛雲閣ということで国宝がございますし、重要文化財も多数ございます。この「鴻の間」というのは書院の中で一番広いところで、門主様との対面所だということでございまして、この上段正面の欄間に雲間を飛ぶ「鴻」の透かし彫りがあることから、通称「鴻の間」と言われているようでございます。この部屋を使いまして、会議を行います。時間に限りがありますので、実りのある議論、意見交換の場とさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。
- ・ 机の上にありますのは、「玉兔」という宇治茶でございます。「京都府宇治茶普及促進条例」に基づく取組の第一弾ということで、また料理界の方から、ウーロン茶はお金が取れるのに、お茶は無料だと思われているということで、品質が良くて、しかも、ある程度価値のあるものということで、100%宇治玉露の「玉兔」を京都府と茶業団体とで共同開発いたしまして、発売したばかりでございますので、御賞味いただければと思います。
- ・ また、入口に京野菜を展示させていただいております。気候・風土に合わせて、1200年をかけてずっと成長されてきました独特の風味と形・色もありますが、新型コロナの影響で若干消費量が落ちております。PRを兼ねまして、展示させていただいておりますので、御覧いただければありがたいと思っております。
- ・ いずれにいたしましても、円滑な会議運営に努めたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

I 国への提案要望（「感染拡大防止と社会経済活動の両立に向けた提言（案）」）

【提言の説明】

- ・ 「感染拡大防止と社会経済活動の両立」ということを柱にいたしまして、感染拡大の防止につきましては、8月28日に政府の対策本部で決定されました「新型コロナウイルス感染症に関する今後の取組」に記載の対策の多くが、10月中を目途に進められているということも踏まえまして、今後も感染症対策といたしましては、「検査・医療提供体制の充実」、「保健所体制の強化」、「医療機関等の経営支援」、「ワクチンの確保」、「水際対策の強化」などの確実な実施を求めますとともに、効率的かつ実効性のある対策を行うための「知

見や事例の共有」、「知事権限の実効性の担保」についても求めることとしております。

- また「社会経済活動の段階的引上げ」につきましては、追加経済対策としての第3次補正予算の年内編成等の動きもごございますので、そうしたものも踏まえまして、公共事業の大幅な上積みなどの「総需要対策」、Go To キャンペーン事業などの「消費喚起対策」、緊急雇用創出事業の創設などの「雇用対策」、さらにはコロナ禍の長期化によりまして、非常に深刻な影響を受けております「中小企業」、「地域の公共交通」、「ひとり親家庭や学生などの生活者」への対応を求めることとしております。さらには「偏見や差別行為・デマ等の排除」、「地方財政への支援」、「デジタル社会の実現」などへの対応も含めて、提言案を取りまとめているところでございます。

II 意見交換（テーマ「東京一極集中是正のための地域の魅力づくり」）

【京都府の取組と総括】

- 京都のことを若干紹介いたしますと、文化庁の京都移転が決まりまして、工事を今やっております。令和4年8月下旬に新庁舎完成で、令和4年度中の業務開始を目指すということでやっておりますし、文部科学省の方もシミュレーションで課題整理をされております。
- この間、大阪・関西万博の政府推進本部事務局の立ち上げの際に、菅総理からも、「日本の伝統や魅力、文化を海外に発信する最高の機会である」という御発言もございましたので、我々としては、これは国の省庁ですけれども、文化庁が来られた時に、またそれに至るまでの間、是非、近畿ブロック、関西、京都、このあたりで、文化庁を中心とした国家プロジェクトとしても様々な取組をしていただけないかというようなことを提案していこうというように思っております。
- 我々としては、まずは受入体制を万全にするということでございますので、また皆様の引き続きの御理解、御協力をお願いしたいと思います。
- 意見交換について、別にとりまとめることはないのですが、荒井知事がおっしゃっておられたように、いろいろなところのやっていることの知恵を、完全にそのまま真似するという事ではないのですが、非常に参考になり、勉強になります。
- 時間は短かったですけれども、やはりポストコロナの社会の描き方は、皆さんそれぞれなのではございますけれども、東京一極集中の弊害が現れたというのは、皆さん実感として持っておられます。鈴木知事も聞かれておられる訳でございますので、逆に言えばこちらの方も魅力を作らないと、ただ分散という訳にもいかないのです、皆さんそれぞれ知恵を出しながら、ポストコロナ社会が本当にそれぞれの地域にとってよい社会になるために、引き続きの連携ができればありがたいというように思っております。

(以上)